

杉山道治郎 （手記） 比較法學者、法學博士。明治十一年一月（一九一九年）東京生れ、昭和四十二年（一九六七年）五月十五自殺（八六—一九六六）。明治二十六年東京帝國大學法科大學卒。大正五年同大教授、のち日本比較法研究所所長、日佛會館理事長等歴任。比較法學と共に、日本に於けるナランヌ法學の開拓者。

著書に『MA MISSION EN FRANCE 1934. Conférences et Allocutions』（海蔵曲の流（一））』（昭和十一年八月八日日佛會館）、『喜井勇翁追憶集』（編、昭和十一年八月十六日日佛會館）、『契約法則九國条約の效力』（昭和十四年一月十六日日法波書店）、『LES PROBLÈMES FONDAMENTAUX DE LA RESPONSABILITÉ CIVILE EN DROIT JAPONAIS』（他三名合著・編、昭和十五年五月十八日日法波書館）等。

